

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4表 2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第2地点	鶴ヶ岡5-196,197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14~	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第3地点	鶴ヶ岡3丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第9地点	東久保1-6-19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野2-27-2	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野2-25-7、8、9	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野2-26-16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野2-25-16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野2-25-1	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野4-9-2	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野4-9-2	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野1-5-8	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野4-8-7	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野4-10-1	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-4	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭1-16-9、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭1-11-5	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭1-5-8	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭1-5-13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間1-10-8	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293-4,10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295-1	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禅寺遺跡第24地点	苗間字神明後346-1、2の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禅寺遺跡第25地点	苗間339-1,2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禅寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の2の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640-9	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第6地点	大井小田久保1207-5	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第8地点	大井1-6-7	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井1-3-16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井1丁目5番5,11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢1-17-16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第4地点	大井字東台689-3	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第5地点	大井字西台911-51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648-4	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640-4	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661-6	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

XVII 浄禅寺跡遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

浄禅寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禅寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12～14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禅寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を浄禅寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は早々に市街化が進み、残された畑地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

2005年3月現在26地点で試掘調査及び発掘調査が行なわれ、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禅寺墓域から土壙墓157基、1字1石経約76,000点が出土している。旧苗間村の浄禅寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失してしまい再建されていない。

2 浄禅寺跡遺跡第22地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2002年3月22日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2002年4月23日から同年5月14日まで行なった。幅約2mのトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果ピットを検出したが、調査地の大半は従前建築物(銀行)の基礎で攪乱されていた。確認面まで40～50cmを測る。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

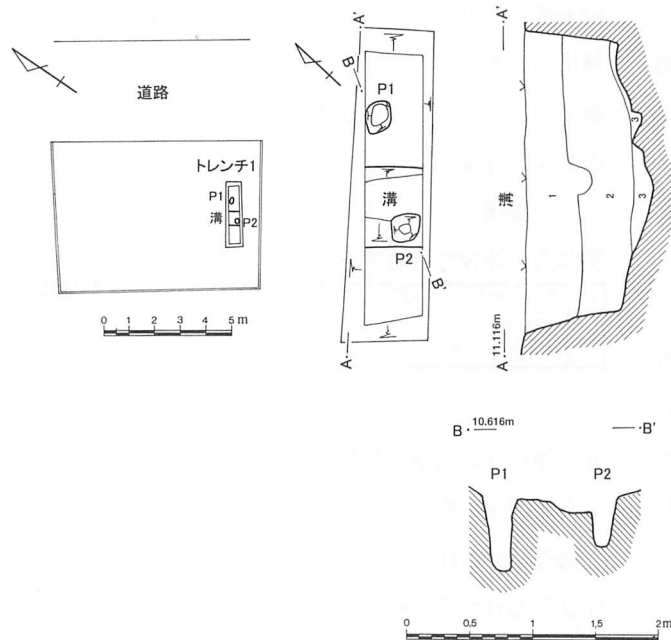
第32表 浄禅寺跡遺跡第22地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	不整形	55 × 38	17 × 5	63	
2	円形	51 × 46	18 × 15	70	
3	隅丸方形	40 × 35	17 × 15	54	
4	楕円形	42 × 36	17 × 14	57	



第73図 浄禅寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

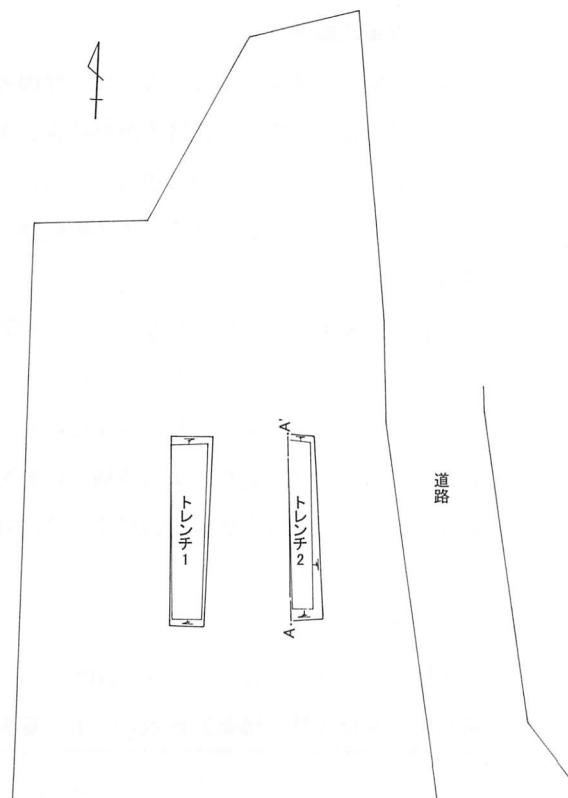
23地点



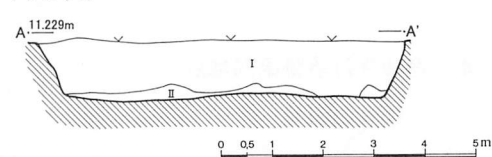
1. 黒色土 締り強. 粘性有. 5mm以下のローム粒を多く含む。ガラ含む地表面
2. 黒色土 締り弱. 粘性有. 10cm以下のロームを斑状に多く含む、旧耕作土
3. 黒色土 締り弱. 粘性有. 5mm以下のロームを少し含む遺構覆土(溝覆土)

- I. 暗褐色土 締り弱. 粘性有. 上層の30cm程が黒褐色土で耕作土、下層はやや黄色っぽい盛土
- II. 黒褐色土 締り弱. 粘性有. 地山黒褐色土。焼石などを含み、縄文時代の包含層になっている

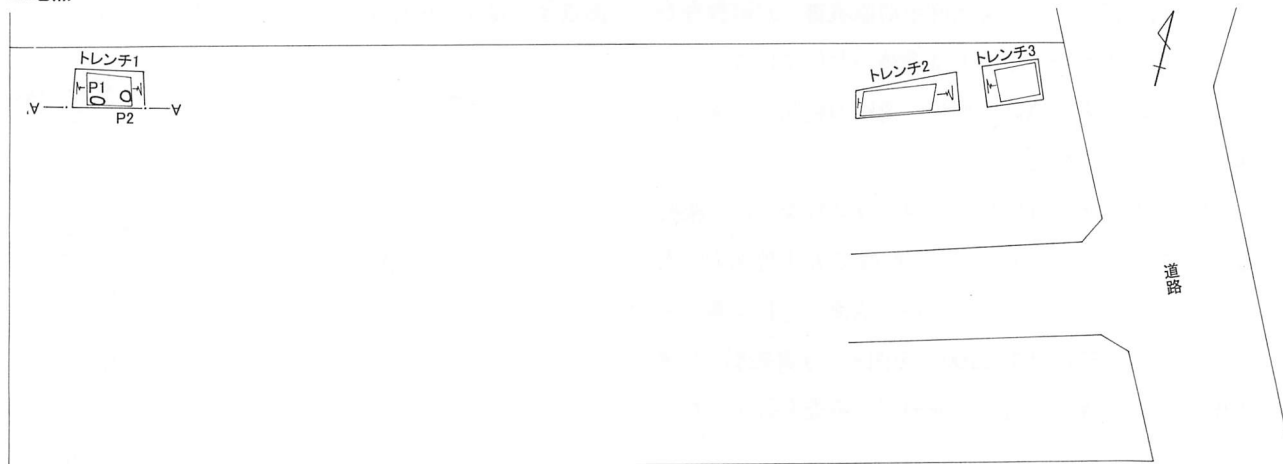
24地点



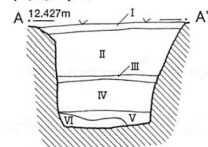
トレンチ2



25地点



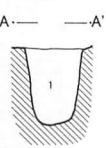
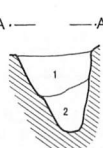
トレンチ1



P1



P2



トレンチ1

- I. 駐車場砂利層
- II. 暗褐色土 締り弱. 粘性有. ローム盛り土
- III. 暗褐色土 締り弱. 粘性有. 5cm以下の礫(玉石)を多量に含む
- IV. 暗褐色土 締り弱. 粘性有. シミ状にロームを極少し含む旧耕作
- V. 黒褐色土 締り弱. 粘性有. IV層ベースにロームを多く斑状に含む
- VI. 暗褐色土 締り強. 粘性有. 地山ローム(ハード)

ビット1・2

1. 黒褐色土 締り強. 粘性有. 1cm以下のローム粒多く含む
2. 黒褐色土 締り強. 粘性有. 1cm以下のローム粒少し含む

第75図 浄禅寺跡遺跡第23・24・25地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、溝、ピット (1/60)

3 浄禅寺跡遺跡第23地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年4月22日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2003年4月28日に行なった。幅約50cmのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果溝とピットを検出したが、確認面まで75cmを測り、建築による遺構への影響がないため盛土保存とし、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

【溝】上幅65cm、下幅32cm、深さ20cm。

第33表 浄禅寺跡遺跡第23地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面			底面			深さ	備考
1	隅丸方形	25	×	22	15	×	12	63	
2	隅丸方形	22	×	22	8	×	6	38	

4 浄禅寺跡遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年7月14日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北側に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年8月30日から翌31日に行なった。幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで100cmを測る。写真撮影・全側図作成等記録保存を行ない埋め戻し調査を終了した。

5 浄禅寺跡遺跡第25地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2004年9月1日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年9月22日から同年10月12日まで行なっ

た。幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果ピットを検出したが、確認面まで200cmを測り、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない埋め戻して調査を終了した。

(2) 遺構

第34表 浄禅寺跡遺跡第25地点ピット一覧表 (単位cm)

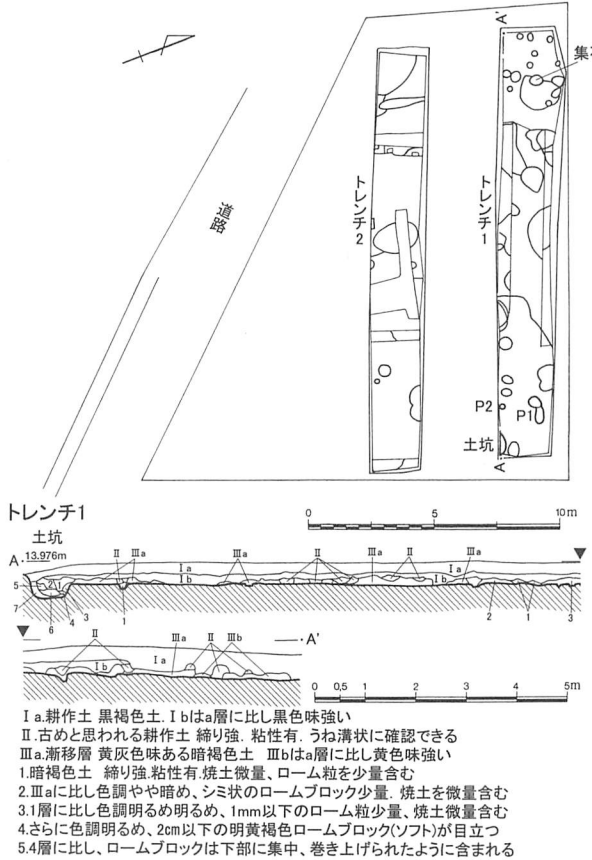
No	平面形態	確認面			底面			深さ	備考
1	瓢箪形	45	×	32	40	×	25	63	板碑片出土
2	隅丸方形	35	×	32	28	×	25	58	

6 浄禅寺跡遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2005年2月23日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に位置するため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2005年3月3日から同年3月8日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果縄文時代の住居跡、土坑、ピット多数を検出した。確認面まで50cmを測る。本調査が必要なため再度原因者と協議した結果、開発を取りやめる事となったので、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない埋め戻して調査を終了した。



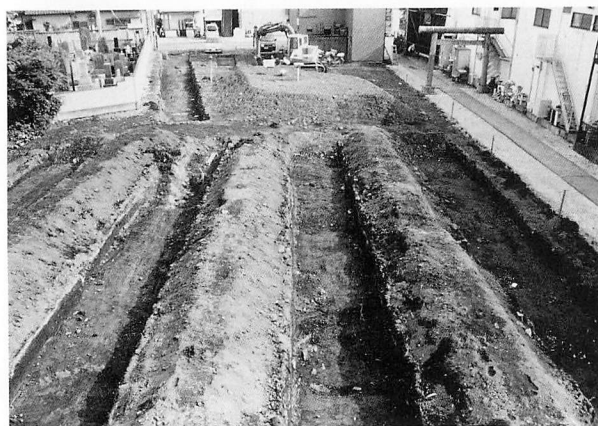
第76図 浄禅寺跡遺跡第26地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)



苗間東久保遺跡第23地点試掘調査



苗間東久保遺跡第23地点試掘調査



浄禅寺跡遺跡第22地点試掘調査



浄禅寺跡遺跡第22地点試掘調査



浄禅寺跡遺跡第23地点試掘調査



浄禅寺跡遺跡第24地点試掘調査



浄禅寺跡遺跡第25地点試掘調査



浄禅寺跡遺跡第26地点試掘調査